

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議について、少なくとも2か月に1回は開催することが望まれるところ、未実施。	2か月毎に1回開催できるようにする。	①家族、保険者との連携は円滑に構築されていると思料。趣旨、予定を事前周知、参加しやすい空気を醸成、盛会を期す。②初回は参加が見込まれるが、継続した参加について、次回開催が期待される議題を設定する。例)当ホームで提供しているスタンダードな昼食やおやつの試食提供と批評、品評。	12ヶ月
2	1,2,3,4,14	①当初、1階の共用スペースにおいて、常設のコミュニティカフェ(オレンジカフェ)稼働を約束したが、未活用。②現状は当ホームの介護の一環の中で、当ホームの現入居者、あらかじめ当ホームが選定したボランティア、当社別施設の入居者をキャストとした、疑似的なコミュニティカフェの演出に過ぎない。	コミュニティカフェ(オレンジカフェ)の稼働	地域住民との交流の場として活用できる取り組みに向けて、近隣で実施されているコミュニティカフェ(オレンジカフェ)に参加し、交流も深め、そのうえで、当ホームが提供できるカフェ作りをする。なお、当ホームが提供を考える取り組みは当社WEBサイトを参照。	12ヶ月
3	10,23,24,25,28	大枠での起床時間、就寝時間を設定している	①利用者本位の生活を実現する ②家庭により近い生活環境の整備	①現在は入居者6名であることから、様々なことに柔軟に対応できているが、今後、入居者が増えたとしても、個別ケアの一環の意味でも目標を達成できる取り組みをする。例1)就寝時間や起床時間を決めることなく過ごす取り組みの実現 例2)柔軟な個別に対応した食事の時間を設ける取り組みの実現。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。